

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 家族と歩むさがの家

グループの名称 よかもんを残す会

直近採択グループ番号 04-0362-0715

(グループ代表者)

代表者名 山口 誠二 代表者印
代表者所属先 株式会社山口新建木材センター
代表者所在地 佐賀県佐賀市本庄町本庄
代表者電話番号 0952-29-3333

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社山口新建木材センター
事務局担当者名 山口 誠一郎 印
事務局郵便番号 840-0027
事務局所在地 佐賀県佐賀市本庄町本庄530-1
事務局電話番号 0952-29-3333
事務局FAX 0952-23-3399
事務局担当者E-mail yamasin@chive.ocn.ne.jp

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	4	戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	申請が未確定(上限150万円)		4	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸			
	申請が未確定(上限165万円)		4	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	0棟				
			0㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	グループ内施工業者に隔たりなく配分することを基本とし、なるべく未経験施工業者を優先的にと考えるが、各建築の工事着工時期を考慮して、事務局と該当施工業者とで決定していく。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	2戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 家族と歩むさがの家	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) よかもんを残す会	(結成年) 2000年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0362-0715	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	二世帯住宅に限らず三世帯、四世代と比較的永く使用でき、ライフステージの変化に対応できる住宅を提供する。世代毎(約25年毎)に間取りを変更しやすい壁配置や各部屋間のつながり、世代毎のライフスタイルに適したリフォームを行いやすい住宅を提供する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	佐賀県は比較的軟弱な土地が多いので、地盤調査を行い地耐力が保持できるような地盤改良を行う。また、台風等の水害や強風に対する耐力壁の配置や外部建具の開き勝手を考慮する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	夏の日差しを和らげる屋根・庇の出を深くする施工や、風通しの良い外部建具の配置を考慮する。台風等の強風と雨水の侵入を防ぐ為に、勾配の比較的強い屋根とする。	○
④①～③の背景	佐賀県では農業、漁業等の一次産業を受け継ぐ家庭が多く、そのため、住宅を世代間で使用し続ける傾向が強い。よって、数世代に渡って耐えうる住宅の需要が多いと判断している。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	現在のライフスタイルに応じた平面計画に加え、25年後の次世代へと使用可能なプランを提供する。建築後の管理保証システムを構築し、メンテナンスの強化を図る。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 主要構造部(柱・梁・桁・土台)の50%以上を佐賀県産材とし、土台・柱は4寸角以上とする。しかし、供給不可能な材は地域材を使用する。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 長期優良住宅に適合する建材を性能面・施工面・経済面から選別し選定を行う。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 長期優良住宅に適合する建材を性能面・施工面・経済面から選別し選定を行う。	○
②-1 建材・資材調達の商品化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材、合法木材の一括購入。長期優良住宅に適合する建材の選定による。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 一括購入・統一部材によるコストダウンを目指す。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域材の規格寸法のリスタップと、納期期間の把握による判別を行い、支障の出ない状況を整備する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記項目に関する諸問題を事務局が一元的に管理・運営する。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「公共建築工事標準仕様書」等を基準として、グループ内の施工基準を設定する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 全ての現場で事務局立会いで現場検査を行い、グループ独自の検査シートにてチェックする。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の標準見積書を作成・使用し、積算方法の標準化に取り組む。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 「標準見積書」を使用し最終消費者(施主)への掲示・説明を義務化する。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	施工中の工事工程や工事状況を写真にし、施工終了後に事務局立会いで目視等の施工検査を行い、報告書等の形態で施主に文書で報告するようにグループ全体で取り組む。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 家族と歩むさがの家	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) よかもんを残す会	(結成年) 2000年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0362-0715	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各工務店等の住宅履歴情報をシステム管理し、事務局が一元管理・運営する。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グリーン内共通で維持保全計画書を使用し、点検方法・診断基準に準じたメンテナンスの実施と報告を義務化し、各戸へのリフォーム方針と提案を設備する。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が一元管理し、定期点検の事前連絡を行う。	◎
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンス時期(1年・3年・5年・10年・20年・30年)とメンテナンス方法を指定し、実行していく。	◎
②-2	補修の共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局主催のイベントを行い、長期定期に安全に住める住宅であることの紹介等のPR活動を実施する。	◎
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 季節毎に展示会様の催事を行う。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で設計・施工の分野から一定人数で委員会を構成し、専任期限を設け担当する。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 廃業・倒産時を考慮して、対象建築物の管理点検を一任する書類を作成し、施主が安心できるバックアップ体制を整備する。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持保全計画書の写しと点検報告書の提出を義務化し、事務局と担当工務店との相互チェックを行う。	◎
その他	通常メンテナンス時期とは別に自然災害時等緊急時にメンテナンスが実行できる体制を整備するように取り組む。	◎
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各種関連事項の講習会・研修会を積極的に利用する。経験工務店の現場の工事工程毎の見学会を開く。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 採択結果発表後、説明会にて実施計画に係るヒアリングを行い、グループ需給計画を策定していく。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅・ゼロエネ住宅未経験の施工業者へ提案・設計・施工の適切なアドバイスをはじめとし、個別相談会等で個々のレベルを上げていく。	◎
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅未経験者に対しては、長期優良住宅認定取得を目指した実務レベルアップ講習会の実施(2回)設計グループを中心として仕様説明会の実施	◎
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 18 今年度の参加目標人数 6	
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 佐賀県地域事務局への問い合わせや、住宅省エネ講習のHPIにより開催時期が分かり次第未取得者への講習会参加を呼び掛ける。	
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 国土交通省の公的機関、佐賀県建築士会等の建築関連機関、または建築会社等が行う講習会、展示会への参加。	○
②	新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 上記で採用した技術や工法を実施する施工現場での見学会等を通じて、グループ内での知識情報の共有化を図り、新規技術開発をグループ延滞で取り組む。	○
その他	事務局が各種建築関連の講習会や展示会のグループ構成員への紹介や連絡を通じて積極的にレベルアップを目指す	◎
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 家族と歩むさがの家	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) よかもんを残す会	(結成年) 2000年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0362-0715	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	土台・柱は4寸角以上とする。 木拾い表・地域材の証明書(合法証明書を含む)、納品書の添付
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 主要構造材 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員のみ地域材の供給グループによる、出荷状況等の共有化を行う。
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員のみ地域材の供給グループによる、価格の情報の共有化を行う。
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が原木供給・プレカット業者と連携し情報共有化を行い、需給予測をし必要な場合、グループ全体での研修会を行い、情報提供する。
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 80枚
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 150坪
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 20枚
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 20枚
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地元組合の情報により、地域で生産される素材を積極的に活用し、施主に対して普及・促進を図る。
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地元組合の情報により、地域で生産される素材を積極的に活用し、施主に対して普及・促進を図る。
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 佐賀県内の各地域に根差した特有な伝統的デザインを継承するよう積極的に取り組む。
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 佐賀県内の各地域に世代間で引き継がれる特徴的な住まい方を継承するよう積極的に取り組む。
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 佐賀県内の各地域を印象付ける特徴的な街並み形成に寄与できるよう積極的に取り組む。
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 次世代が引き継ぎ利用できる和の要素を住まいに取り入れるよう積極的に取り組む。
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	佐賀県内で生産される地域特性の優れた、または自然素材の建材を優先的、積極的に取り入れ活用することで、佐賀県の地域性を活かした住宅設計・施工を目指していく。
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 家族と歩むさかの家	(地域型住宅供給対象地域) 佐賀県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) よかもんを残す会	(結成年) 2000年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0362-0715	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取り組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

- グループとして取り組み高度省エネ型住宅の性能と特徴について
居室以外の外部建具はLow-Eガラス使用の二重ガラスとし、高効率給湯器の設置とする。
- グループとして取り組む優良建築物型木造建築物の性能と特徴について
認定低炭素建築物としての要件を満たし、ビル・エネルギー・マネジメントシステム (BEMS) の設置と、床面積の過半の面積を地域材で仕上げる施工方針とする。